

神迎の道

kami mukae no michi
the gods' greeting road

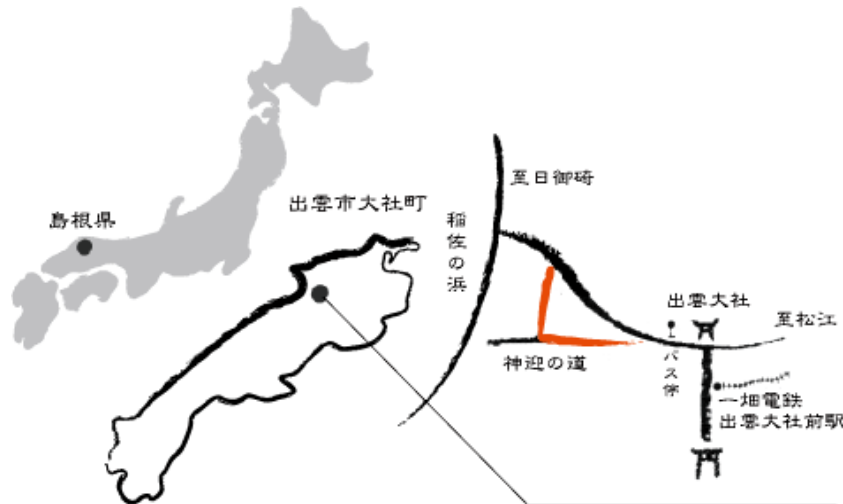
●神迎の道とは

旧暦十月、全国の八百万の神々が大神に集まられて、人々の人生諸般の事、縁結びなどについて話し合われます。

(出雲地方では旧暦十月を「神無月」ではなく「神在月」と呼びます。)

旧暦十月十日夜、国譲りの聖地稲佐浜において、全国各地より参集される神々をお迎えする神迎祭が執り行われ、神事後、竜蛇さまを先導に八百万の神々が大国主大神の待たれる出雲大社へと向かわれます。

この稲佐浜から出雲大社へと神々がお通りになられる道を『神迎の道』と呼びます。



●神迎の道の会の目的

全国的にも唯一といえる、八百万の神々がお通りになられる『神迎の道』を、おもてなしのあふれる活動を通じて魅力を高め、他の地域から来られた方々とのふれあい、住む人同士のふれあいを通して、自らの地域に対する誇りを再認識し、しっかりと後世に引き継ぐことを目的としています。

●神迎の道の会の約束

- ・活動をする本人が楽しみ、住む人も、訪れる人も、笑顔になる。
- ・提案者・賛同者自らが、率先して行動する。
- ・住んでいる私たち、住んでいく子供たちが地域に誇りを持てる。
- ・ここで住んでいく上で何が問題かを自分たちで考え、それを自分たちで解決する。
- ・問題解決に必要なであれば、どんどん行政に働きかけて共働してゆく。

●取り組み

・年間を通して

潮汲みに花をいけて通りを飾ります。

毎月1日は潮汲み実践ツアー

(地元の方と一緒に体験していただきます。)

コミュニケーションツールで旅人と住人を結ぶ

ひとなみまっぷ (沿道に住んでいる方々を紹介する地図)

五縁玉

(5円玉にリボンをつけたオリジナルの縁起物・つり銭やプレゼントで使用)

・神迎祭・神在祭の期間中や出雲大社の主な祭り、
連休、夏休み、観光シーズン等にやっている事。

潮汲みにいけた花と、灯ろうのひかりで

軒下を飾り付けて皆様をお迎えしています。

地元住民の手作りショップ・お休み処で、

旅人と住人のコミュニケーションを促進。

スタンプラリー (神様の足跡を探そう!!) で

通りの隅々を楽しんで回遊してもらう。

●潮汲みとは禊ぎに使われる竹製の柄杓。

早朝、大社人は国譲りの聖地稲佐浜で、海原に手を合わせ海水を潮汲みに汲みます。

そうして、出雲大社・荒神社に参拝し、神前と自分の体に潮を笹の葉でまいて浄めます。その後、自宅に持ち帰り、家族・玄関・神棚・仏壇・釜場・戸口・便所・各部屋にまいて浄めます。

古くから今も変わらず、代々続けられている風習です。

神迎の道の民家や商店では、軒下に潮汲みが下げられています。潮汲みに山野草などを活けて飾り付け、ささやかなおもてなしの気持ちで、道行く方々をお迎えしています。



今年は11月30日から12月7日まで、

日本の神々がここ大社に集まられます。

神々の歩む『神迎の道』をあなたも歩いてみませんか？

神様の足跡が見つかるかも知れません。

心よりお待ち申し上げます。

神迎の道の会

